



Q #交通空白解消へ

## 地方運輸局の取組



## 静岡県湖西市

### ◆ 背景

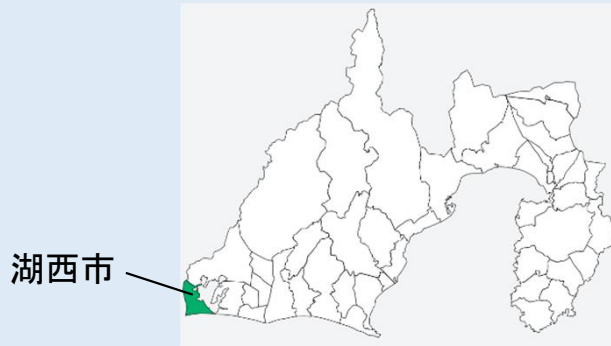
- ・コミュニティバスは、ほとんどの路線で1日5本ほどの運行しかなく、買い物や通院時間帯の足が不足。

### ◆ 実施概要

- ・地元企業協力のもと、企業シャトルバスの空き時間に地域住民の輸送を実施し、買い物や通院の足を確保。（1乗車100円）  
 （※）令和2～6年度に実証運行、令和8年1月から通年運行を開始
- ・湖西市が公共ライドシェアの登録を受け、企業のシャトルバスを用いて運行。
- ・令和4年8月からは、隣接する愛知県豊橋市も参画（※）。  
 （※）豊橋市は、市内の停留所設置や地元調整、運行経費の一部負担等で協力

### ◆ 効果

- ・地元企業のシャトルバスを貴重な輸送資源として活用し、コミュニティバスを補完。
- ・実証運行を行った結果を踏まえ、利用実績に応じた効率的なルート設定を行い、企業協力のもと、市の負担を抑えながら運行。



令和6年度運行の様子

## 愛知県阿久比町

### ◆ 背景

- ・循環バスの運行間隔は約1時間45分に1本と、時間的な「交通空白」が発生。
- ・加えて、駅・バス停から離れた地域があるほか、丘陵地に住宅が点在し、地理的な「交通空白」も発生。

### ◆ 実施概要

- ・「交通空白」解消に向け、新たに、地域交通法に基づく協議会を立ち上げ、地域公共交通計画を策定する予定。
- ・「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト（「交通空白」解消タイプ）の補助事業を活用しながら、循環バスの増便及び循環バスを補完するデマンドタクシーを実証運行予定。



阿久比町循環バス「アグビー号」

## 熊本県

- 知事の発案に基づき、熊本県においては、庁内関係部局※が連携し、**分野横断的に地域の移動手段を確保・改善**する取組を進めるため、「**輸送資源フル活用推進プロジェクトチーム**」を設置（令和8年2月） ※ 交通、健康福祉、教育、観光

### 【PTメンバー】

- 企画振興部 交通政策・統計局 交通政策課長（座長）
- 健康福祉部 健康福祉政策課長
- 観光文化部 観光振興課長
- 教育庁 教育政策課長  
+ 参加を希望する市町村の担当課長

※ 県の広域本部・地域振興局がオブザーバー出席

※ 運輸局も関係機関として出席



木村知事の記者発表の様子

### 【開催概要】

#### 第1回（令和8年2月20日）

- 県内市町村の取組の紹介（芦北町におけるスクールバスの空き時間を活用したコミュニティバスの運行等）と今後の方向性について確認

#### 第2回（令和8年3月26日）

- 県において実施した輸送資源の利活用事例の調査結果の共有
  - ・ スクールバスの空き時間活用、スクールバス混乗、社会福祉協議会の車両活用の事例を把握
  - ・ 輸送資源の利活用を進めるにあたっての課題も把握

### 【今後の予定】

- 「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト（モビリティ人材・組織育成タイプ）を活用して、輸送資源のフル活用推進に必要な県や市町村職員の育成を実施
- 県予算にて輸送資源の実態調査を実施



第2回PTの様子

## 福岡県うきは市

- うきは市では、**地理的・時間的な交通空白を解消**するため、ルートや運行時間、料金等を柔軟に設定できる**AIオンデマンド交通（公共ライドシェア）**を導入（令和7年11月～実証運行中。令和8年10月より本格運行の予定）

※ 令和7年度「交通空白」解消緊急対策事業を活用

- **幹線交通（路線バス）との乗継ぎの利便性**を高めるため、路線バスのバス停とAIオンデマンド交通のミーティングポイントを併設し、ベンチや上屋を共用。また、**スポンサー制度**による協賛金を運行経費に充当

- 小中高生の利用促進にも取り組んでおり、**全体の2割程度が10代以下**による利用

- なお、うきは市においては、令和7年度より、専任で交通を担当する係を新設（現在は3名体制）

### 【運行内容】

- 運行形態：公共ライドシェア
- 運行主体：うきは市（タクシー事業者へ運行委託）
- 運行時間：8:30～19:00（お盆・年末年始は運休）
- 運賃：300円～（現金／キャッシュレス決済）
- 乗車定員：8名／台（3台で運行）

